

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日赤新労

平成24年  
3月15日  
発行  
第216号

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F  
TEL (03) 3433-3028  
FAX (03) 3432-4560  
Eメール shinro@shinro.org  
ホームページ http://www.shinro.org/  
発行責任者 山本 俊一



## 第51回定期全国大会開催 —基本賃金引上げ3.0%に決定—

二月十九日から二十一日の三日間、静岡県伊東市「伊東ホテル」において、全国加盟単組より代議員及びオブザーバー等九〇名を超える参加のもと、第五一回定期全国大会が開催された。

会議では、平成二十四年度運動方針案や要求書案のほか、初任給標準格付基準等について慎重な審議が行われ、新執行体制のもと、本年度も要求獲得に向けて力強く前進していくことを確認した。

初日の十九日は、開会のことばの後、出席者全員による日赤新労労働歌斉唱が行われ、資格審査・成立確認を経て、大会役員及び議長団が選出された。議長には柏谷幸司氏(愛知血七)、副議長に大淵賢一氏(鳥取日赤)、書記に金沢丈夫氏(千葉血七)。

次いで、秋友中央執行委員長が挨拶に立ち、次のように述べた。

「今年度の活動は、三月十一日の東日本大震災の影響で本社との交渉もなかなか開けず、本部としてはもどかしい思いの一年だったが、大きな変革の年でもあった。

また、血液センターに勤務される方々には、プロック体制への移行や血漿分画事業の統合が間近に進められているにもかかわらず、なかなか情報を提供できない状況があるが、今後もこの件に関する問題点については、各単組と連絡を密にとり、本社と協議していきたい。

日本経済はリーマンショック以降、上向いてきたが、東日本大震災の影響もあって、三十一年ぶりに貿易赤字になるなど、先行きは不透明な状況である。このような中においても、日赤新労はより良い職場環境づくりを目指し、邁進していかねばならない。今大会では皆さんと共に熱く語り、次年度の運動方針並びに日赤新労のあり方を真剣に議論していきたいと思う。」

報告事項に入り、各部報告として組織・教宣・調査の各部長より一年間の活動報告が行われたほか、週休二日制推進委員会報告として、印南副執行委員長より未実施施設における交渉の進捗状況が報告された。

また、山本中央書記長から報告資料を添って一般経過報告がなされ、六年制卒の薬剤師の処遇についてフロアから質問が出されたが、審議事項の議題の中で協議していくこととした。

技師(士)長職の対象の拡大については、引き続き強力に交渉してほしいとの要望が出された。

続いて、佐久間中央会計より平成二十三年会計収支決算報告が行われ、会計監査委員からは適正且つ正確に処理されている旨報告がなされた。

単組活動報告において、各単組代表者から資料に基づき補足説明を加えて、施設交渉やレク活動等の報告が行われ、賛成多数で承認された。

大会二日目は審議事項から始まり、議題である平成二十四年度運動方針案や要求書案、予算案のほか、初任給標準格付基準等について慎重な審議が行われた。最終日には平成二十四年度本部役員選挙が行われ、役員詮衡委員会が詮衡された十名が新役員として信任、決定された。

最後に、今津赤十字病院の樋口良子氏により、力強い「三唱」が行われ、盛会の「伊東大会宣言」が読み上げられ、秋友中央執行委了した。



### 伊東大会宣言

日本赤十字新労働組合連合会は、第五一回定期全国大会を、花と海といで湯の町、静岡県伊東市「ホテル」において盛大に開催した。

私たちは平成二十四年度運動方針として、

- 実質賃金を獲得し豊かでゆとりある生活
- 労働時間短縮と完全週休二日制の実施
- 教宣活動を強化し組織の団結と活性化
- 勤務評定の完全実施と人材育成

日本赤十字新労働組合連合会は、第五一回定期全国大会を、花と海といで湯の町、静岡県伊東市「ホテル」において盛大に開催した。

私たちは平成二十四年度運動方針として、

- 実質賃金を獲得し豊かでゆとりある生活
- 労働時間短縮と完全週休二日制の実施
- 教宣活動を強化し組織の団結と活性化
- 勤務評定の完全実施と人材育成

医療環境の中、日赤新労の理念を基調とし、全組合員協力のもと、要求貫徹に向けて力強く前進することを誓います。

右伊東大会宣言とします。

平成二十四年二月二十一日  
今津赤十字病院職員組合  
樋口 良子

### 初任給標準格付基準等 慎重審議行われる

最後に、今津赤十字病院の樋口良子氏により、力強い「三唱」が行われ、盛会の「伊東大会宣言」が読み上げられ、秋友中央執行委了した。

#### 報告事項

- 各部報告
- 一般経過報告
- 会計収支決算報告
- 会計監査報告
- 単組活動報告

#### 審議事項

- 平成二十四年度運動方針案について
- 病院看護部における労働環境の改善について、専門認定看護師の処遇改善について質疑が行われた後、原案どおり、賛成多数で決定された。
- 要求書案について
- 基本賃金の引上げは定昇
- その他

#### 組合例規集について

注文部数の関係で単価が相当高くなることから、自前の発行は行わず、今年度も日本赤十字社例規集のCD・R版で対応することとした。

#### 宿泊施設の利用について

宿泊施設の割引利用として、本部よりソラレグール(チサンホテル)の紹介があった。

#### 初任給標準格付基準等の改正について

二月十五日に本社から提案のあった改正内容について審議が行われ、特に六年制卒の薬剤師への対応に

#### 平成二十四年度 全国会議開催予定

- 第一回中央委員会 五月十三日～十四日
- 単組新任役員研修会 六月二十三日～二十四日
- 第二回中央委員会 九月九日～十日
- 病院看護部会 十月二十七日
- 第三回中央委員会 十二月八日～九日
- 第五二回定期全国大会 平成二十五年 二月二十四日～二十六日

#### 第1回中央委員会

平成24年5月13日(日)～14日(月)  
東京都港区芝浦1-3-10

「チサンホテル浜松町」



# 平成24年度本部役員

- 中央執行委員長 **秋友 信男** (岡山日赤)
- 中央副執行委員長 **内海 和彦** (石巻日赤)
- 中央副執行委員長 **伊藤 高敬** (愛知血七)
- 中央書記長 **山本 俊一** (鳥取日赤)
- 中央会計 **佐久間直紀** (千葉血七)



- 中央執行委員 **大月 肇** (飯山日赤)
- 中央執行委員 **小室 勝彦** (秦野日赤)
- 中央執行委員 **高橋 直樹** (新潟血七)
- 会計監査委員 **三浦 勝紀** (大津日赤)
- 会計監査委員 **川上 知子** (嘉麻日赤)



## 就任にあたって

中央執行委員長 **秋友 信男**

第五一回定期全国大会の役員改選において、昨年に引き続き中央執行委員長に選出され、ご承認をいただきました。

昨年は、山田前中央執行委員長、渡辺前中央書記長の退任により、秋友・山本の新体制となりましたが、慣れない本社交渉や東日本大震災による異様な状況が続く中、各単組役員の皆様のお力添えを頂き、何とか務めることができました。

今年度は印南前副執行委員長と一條前中央委員が退任されましたが、新たに高橋中央執行委員と小室中央執行委員を迎え、気持ちも新たに頑張っていきたいと思っております。

血液事業においては、ブロッケンター化や血漿分

画事業の統合が始まる中、血液センターの加盟単組の多いブロッケンターから高橋中央執行委員が選出されたと、また小室中央執行委員は二ブロックの秦野日赤の単組の立上げに尽力されたと聞いており、心強い同志を得たと感じております。

各出身単組、出身ブロッケンターはもとより、全国の組合員の皆様の更なるお力添えとご声援をお願いしたいと思います。

日本経済はバブル崩壊以後、右肩下がりの経済成長は夢物語となり、リーマンショック、東日本大震災等と景気回復を妨げるマイナス要因が起っています。

日本赤十字社は「世間並みの給与とボーナスは確保する」としていますが、公務

## 退任挨拶

大田原赤十字病院 **印南 新一**

員給与は復興財源や膨大な赤字国債、増税問題等の様々なマイナス要因があり、今後の我々の賃金交渉は施設の経営状態も含め、不安要素が満載です。更に、医療施設においては、地域格差はあるものの、医師や看護師不足による経営難は、そこで働く組合員にとっても危惧されることです。

日赤新労は、賃金や諸手当の改善を要求書に沿って実現していくことはもとより、労働法や既存の制度をしっかりと認識して、正しく運用されるよう注視していかねばなりません。

ブロッケン会議や中央委員会、定期全国大会で大いに情報交換をして、組合活動を更に盛り上げていきたいと思っております。

今後とも皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い致しますとともに、各単組の益々のご発展を祈念して、就任の挨拶とさせていただきます。

## 一 條 浩一

宮城県赤十字血液センター

五年間の長きにわたり、皆様には大変お世話になりました。振り返ってみると、皆様のためにあまりお役に立てなくて申し訳なく思っています。また、この五年間は無理を言って執行委員を通させて頂き、歴代の役員証書委員の方にはご迷惑をおかけしました。

私個人的には沢山のことを勉強させて頂き、また多岐にわたる職種の方と交流もでき、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

血液センターにおいては本年四月からのブロッケン体制への移行や血漿分画事業の統合など大きな問題が残されており、新執行部の方

には、組合員の皆様が良い環境で仕事ができるよう頑張っていたらと思うしております。私もこれからは、一組合員として微力ながら応援して参ります。



## 足利日赤職組 結成60周年を祝う

足利赤十字病院職員組合

足利赤十字病院職員組合の表彰が行われるなど、敵は一九四九年に結成され、肅な中に終了致しました。

一九六一年に日赤新労に加盟しました。この度、節目となる職員組合結成六〇周年相談役による乾杯の音頭で年並びに日赤新労加盟五〇周年を迎えることとなり、まね芸人のおかもとまりさんと神奈月さんのショーが催されました。ショーの途中では、組合員と神奈月さんが対戦するというアドリブもあるなど大いに盛り上がり、お二人の芸人さんには抽選会や記念撮影にも参加して頂きました。

記念式典は当単組の五十嵐康典組合長の挨拶の後、ありましたが、諸先輩方と様々な話をする機会を得たことは、これからの組合



## 日赤新労に感謝!!

大津赤十字病院新労働組合 **西村 和典**

今回、この紙面の場を与えて頂き、有り難うございます。

私もこの3月に定年を迎えますが、赤十字病院を去る寂しさよりも新労を去る寂しさの方が、正直辛く感じられます。

入職して試用が過ぎると同時に当組合に入りました。当時、大津日赤は全日赤と新労とが拮抗しており、別に組合同士が喧嘩をしているわけではありませんでした。入会勧誘が熾烈極まりのない状態でした。当時から不思議に思っていたのは、「何故労働組合が同じ病院に二つ存在するのか？」ということでした。二つより一つの方が力強いからです。しかし、ボーナス闘争で初めてその理由がわかりました。すなわち、目的達成のために、他組合は手段を選ばない方策をとる手法でした。ストは日常茶飯事でした。

し、山猫ストも取り入れ、保安要員規定も梨の礫でした。従って、給食の配膳を手伝った事もありました。先輩方に叱られながらも、全日赤の若い職員と、「病院がつぶれるのか」とよく議論を交わしたものでした。当時より「新労を一本化!!!」と大きな夢を追いつつ、オルグ活動を展開していたわけです。

私は新労の持つ『労使協調路線』という言葉がすごく好きで、ずっと大事にしていかなくてはと思っています。

大津日赤での全日赤の強さが、そのまま4ブロック近畿圏に引き継がれていったのが今日の現状であり、大津日赤新労が首の皮一枚にて、日赤新労の4ブロックを守ってきたと言っても過言ではありません。こういった思いもあって、見苦しい顔を中央委員会や定期大会での壇上にてさらけ出し、組合員の皆さんの不快感をかりたてた事、申し訳なく思っております。

一昨年、日赤新労の組合員数が全日赤を抜いて筆頭になったとの発表を聞いたときは、皆様同様、私自身も大変喜ばしく感じ、心踊る思いでした。

全国の仲間と年4回の会議の時には議論を交えて、仲間の仕事内容をつぶさに



乾杯発声で挨拶に立つ西村和典氏

聞くことができ、それにより赤十字の連携ができたことに感謝します。日赤新労の仲間との連携及び各単組の職場仲間と議論を深めていくことの重要性は、今日のチーム医療の原点であります。この事も新労を通じて学ぶことが出来ました。

最後に、先の第51回定期全国大会懇親会で乾杯発声の機会を与えて頂き、ありがとうございます。また、3月10日には、第1回中央執行委員会を4ブロックのオルグを兼ねて当地大津で開催して頂き、重ねて感謝、お礼申し上げます。

これからも、日赤新労の益々の発展を心より願っております。

活動にとって貴重な財産に ださらない点が多々ある若なることでしょうか。また、い執行部ですが、今後七十の中ご出席を頂き、また多くのご祝電やお祝いを頂戴と執行委員が協力し、一つ 展していくために、微力なし、誠にありがとうございます。

の足跡を刻むことができた ながら日々努力していきたいと思っております。

(副組合長 新井 宏幸)